

1

人々の生活

世帯と消費生活の変化

国民の生活は、世帯という家族の単位が基本になっています。世帯の形は多様化しており、1970年代ごろから核家族世帯（夫婦のみの世帯や親と子どもの世帯）が増えて、三世帯世帯（親とその親と子どもの世帯）が少なくなりました。近年は、一人で生活する世帯（単独または単身世帯と呼ばれます）が増えて、特に、高齢化が進む中でお年寄りの一

1 家族類型別の世帯数（単位 万世帯）（一般世帯）

	2005		2015	
		%		%
親族のみの世帯	3 425	69.8	3 431	64.5
核家族	2 833	57.7	2 975	55.9
夫婦のみ	963	19.6	1 072	20.1
夫婦と子ども	1 463	29.8	1 429	26.9
ひとり親と子ども	407	8.3	475	8.9
核家族以外	592	12.1	456	8.6
非親族をふくむ世帯	36	0.7	46	0.9
単身世帯	1 446	29.5	1 842	34.6
一般世帯数 ¹⁾	4 906	100.0	5 333	100.0
1世帯あたり人員(人)	2.55	—	2.33	—

総務省しらべ。世帯とは、住居と生計を共にする者の集まりです。一般世帯のみで、学生寮や病院などの施設の世帯はふくみません。1) 2015年の一般世帯数には、家族類型がわからない不詳データをふくみます。2015年の割合は、分母から不詳を除いて算出されています。